株式会社アカラ興産

2024年環境活動レポート

(対象期間:2023年11月~2024年10月)

作成日:2024年11月22日

株式会社アカラ興産

目 次

- 1. 組織の概要
- 2. 環境方針
- 3. 組織体制
- 4. 環境目標
- 5. 環境活動計画
- 6. 環境目標の実績
- 7. 環境活動計画の取組結果とその評価
- 8. 具体的な取組状況
- 9. 次年度環境目標
- 10. 次年度の環境活動計画の取組内容
- 11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価
- 12. 代表者による全体の評価と見直し

1. 組織の概要

名称及び代表者名 株式会社アカラ興産 毛呂山営業所 代表取締役 鈴木 憲治

所在地

本 社 埼玉県飯能市大字中藤下郷25番地14(登記上)

倉 庫 埼玉県入間郡毛呂山町大字市場96-2

事務所 埼玉県入間郡毛呂山町中央4-14-6 3階

環境管理責任者

鈴木 憲治

連絡担当者

鈴木 憲治

連絡先 TEL 049-295-0175

FAX 0 4 9-2 9 5-7 5 1 0

E-mail namiki@guitar.ocn.ne.jp

事業の概要

一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬、清掃請負業務

事業の規模

法人設立年月日 昭和48年12月

資本金 1000万円

売上高 2820万円

廃棄物の収集運搬量 一般廃棄物109.9 t 産業廃棄物24.7t

従業員数 12人

事業所の延べ床面積 倉庫465m² 事務所74.35m²

対象範囲

廃棄物収集運搬業

倉庫 埼玉県入間郡毛呂山町大字市場96-2 事務所 埼玉県入間郡毛呂山町中央4-14-6 3階 対象範囲外

清掃部 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

許可登録の内容

							産シ	業廃.	棄物	の利	重類		
種類	発行者	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	燃え殻	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	陶磁器くずガラス・コンクリート	がれき類
一般廃棄物収集運搬業	坂戸市	第1211号	令和6年4月1日	令和8年3月31日									
一般廃棄物収集運搬業	埼玉西部環 境保全組合	第4-01号	令和6年4月1日	令和8年3月31日									
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01110002408	令和6年8月9日	令和13年6月28日	•	•	•	•	0	•	\bigcirc	0	•
産業廃棄物収集運搬業	東京都	1300002408	令和5年3月26日	令和12年3月25日			•	•	•	•	•	•	•

○は積替え保管を含む

積替え保管施設の面積と上限量

廃棄物の種類	保管面積	保管上限
木くず	11.1 m²	$3.1\mathrm{m}^3$
ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず	7.5 m²	$1.7\mathrm{m}^3$
金属くず	7.5 m²	$1.7\mathrm{m}^{\!\scriptscriptstyle 3}$

車両

車種	車両番号	最大積載量
ダンプ	川越100さ4463	2,000kg
ダンプ	所沢400す3620	2,000kg
ハイゼット	川越483い1888	350kg

2. 環境経営方針

(環境理念)

当社では常にゴミのしっかりした分別、ゴミの減量化、環境に優しい運転を 目標においております。

しかし、環境問題が地球規模の広がりを見せ複雑化多様化する中で、より真摯に 環境問題に向き合い、今まで以上に環境について考え、事業活動において、環境に 負荷がかからないよう積極的に取り組んでまいります。そして、継続的な環境負荷 の削減に取り組んでいきます。

そうした行動が経費削減にも繋がっていくと考えております。

(環境保全への行動指針)

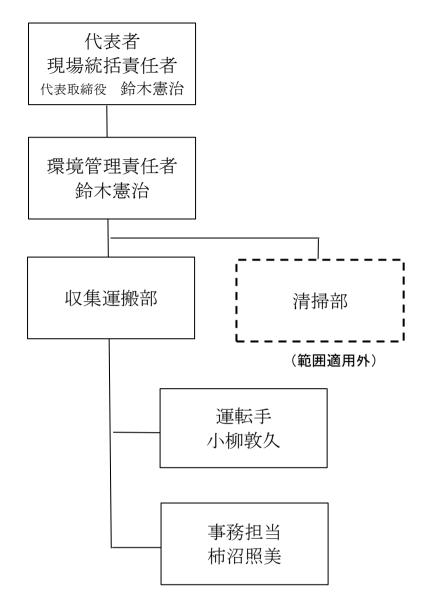
事業活動による環境負荷の低減や改善を図る為、具体的に次の事に取り組みます。

- ① 電力、燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 事業活動に伴って発生する廃棄物の減量化、分別、リサイクルの推進
- ③ 事務所周辺の清掃
- ④ 事務所、倉庫の一般、産業廃棄物の総排出量の削減と水の適正使用の推進
- ⑤ 環境関連法規及び条例の遵守

これらについて環境目標、活動計画を定め定期的に見直し、継続的な改善に努めます。そして、地域の環境美化活動も積極的に取り組んでいきます。

制定日 2023年 4月1日 代表取締役 鈴木憲治

3.組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
	環境経営に関する統括責任
	環境管理責任者の任命
代表者	環境方針の策定・見直し
TVX T	環境目標・環境活動計画の承認
	全体の取り組み状況の評価と見直し
	環境活動レポートの承認
	環境経営システムの構築、実施、管理
	環境関連法規等のとりまとめ表の承認
	環境目標・環境活動計画の作成
環境管理責任者	環境活動の取組結果を代表者に報告
	環境活動レポートの作成
	外部からの苦情、要望等に対する対応
	環境負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施
現場統括責任者	環境方針を従業員に周知
先 物机10 具 11 1	環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守状況の評価
	環境管理責任者の補佐
事務担当	環境活動の実績集計
学 物型目	外部からの苦情、要望等に対する受付
	環境関連法規等の取りまとめ表の作成
従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する
() () () () () () () () () () () () () (決められた事を守り、しっかりと環境活動に取り組む

4. 環境目標

(1)単年度目標

項目	単位	R5年 実績(基準年) R4.11-R5.10	R6年 目標(−1%) R5.11-R6.10
燃料使用量	(0)	3,697	3,660
電力使用量	(kWh)	5,265	5,212
CO ₂ 排出量	$(kg-CO_2)$	11,380	11,266
水使用量	(m^3)	39.0	38.6
一般廃棄物排出量	(kg)	47.0	46.5
産業廃棄物排出量	(t)	3.0	3.0

(2)中長期目標

	274.11	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
項目	単位	実績(基準年)	目標(-1%)	目標(-2%)	目標(-3%)	目標(-4%)
		R4.11-R5.10	R5.11-R6.10	R6.11-R7.10	R7.11-R8.10	R8.11-R9.10
燃料使用量	(0)	3,697	3,660	3,623	3,586	3,549
電力使用量	(kWh)	5,265	5,212	5,160	5,107	5,054
CO ₂ 排出量	$(kg-CO_2)$	11,380	11,266	11,152	11,039	10,925
水使用量	(m^3)	39.0	38.6	38.2	37.8	37.4
一般廃棄物排出量	(kg)	47.0	46.5	46.1	45.6	45.1
産業廃棄物排出量	(t)	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9

[※] 東京電力の調整後排出係数 (令和5年度実績) は $0.441 \mathrm{kg-CO}_2/\mathrm{kWh}$

5. 環境活動計画

期間:令和5年11月~令和6年10月

	項目	取り組み計画	担当者		
		・事務室、倉庫等の不必要な時の消灯			
		・倉庫など使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する			
		・パソコン、コピー機等のOA機器の省エネ設定			
		・パソコン、プリンター等の不使用時電源OFF			
	電力使用量の削減	・空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)	柿沼		
		・空調を必要な区域や時間に限定して使用			
		・使用していない部屋の空調の停止			
CO2排出量の削		・ブラインドやカーテンの利用等による熱の出入りを調節			
減		・クールビズ推奨			
		・作業時間や待機時間、走行距離の短縮化			
		・車両のエコドライブ			
	燃料使用量の削減	・タイヤの空気圧を定期的に確認する			
		・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輌整備	鈴木		
		・最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進める			
		・アイドリングストップ			
		・エアコンの使用を控える			
		・手洗い時等の日常的な節水			
		・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は水量調整をする			
用水使用量の削減		・定期的な水漏れのチェック	鈴木		
		・有害物質や有機汚濁物質(生ごみ等)ができるだけ混入しないようにする			
		・モップ洗い時等こまめな止水をする			
		・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮する			
		・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる場合は可能な限り利用するよう工夫する			
	一般廃棄物の削減	・ミスコピーの削減			
廃棄物の削減	一似光来初少时减	・ゴミの分別の徹底			
		・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用の推奨			
		・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する			
	産業廃棄物の削減	・分別の徹底	鈴木		
社会貢献		・事務所、倉庫周辺の清掃活動	鈴木		

6.環境目標の実績

(1)本年度実績

項目	単位	R5年 実績(基準年) R4.11-R5.10	R6年 目標(−1%)	R6年 実績	達成値	評価
燃料使用量	(Q)	3,697	R5.11-R6.10 3,660	R5.11-R6.10 3,986	8%	X
電力使用量	(kWh)	5,265	5,212	5,286	0%	X
CO ₂ 排出量	$(kg-CO_2)$	11,380	11,266	12,004	5%	×
水使用量	(m^3)	39.0	38.6	38.0	-3%	\bigcirc
一般廃棄物排出量	(kg)	47.0	46.5	46.0	-2%	Ô
産業廃棄物排出量	(t)	3.0	3.0	4.5	50%	×

東京電力の調整後排出係数(令和2年度実績)0.441kg-CO2/kWh

評価 : 達成〇 未達成×

環境目標未達成理由と見直し

水使用量、一般廃棄物排出量は目標を達成する事が出来て良かったと思います。今のまま意識を高く持ち、継続していけるように頑張りましょう。

燃料使用量に関しては8%増加してしまうという結果になってしまいました。暑い日が続いた事により車内のエアコンを多用した為だと考えられます。エアコンを適切に使用するように心がけましょう。今後もエコドライブ等しっかりと取り組んでいきましょう。電力使用量に関してはほぼ前年度と同じという結果になりました。前年に引き続き、節電意識を高く継続出来ている事の表れだと思います。このまま継続して取り組んでいきましょう。

産業廃棄物排出量ですが、倉庫の片付けをした為、前年度より増加してしまいました。しかしながらリサイクル等の分別はよく 出来ていると思います。引き続き取り組んでいきましょう。

7. 環境活動計画取組結果とその評価

期間:令和5年11月~令和6年10月

◎:良くできている ○:まぁまぁできている △:あまりできていない ×:できていない

	項目	取り組み計画	達成状況	評価と見直し
		・事務室、倉庫等の不必要な時の消灯	0	
		・倉庫など使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	0	
		・パソコン、コピー機等のOA機器の省エネ設定		
		・パソコン、プリンター等の不使用時電源OFF	0	
	電力使用量の削減	・空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)		良く出来ている。今後もこのまましっかりと継続していき たい。
		・空調を必要な区域や時間に限定して使用	0	,2. 0
		・使用していない部屋の空調の停止	Δ	
C O 2 排出量		・ブラインドやカーテンの利用等による熱の出入りを調節	0	
の削減		・クールビズ推奨	0	
		・作業時間や待機時間、走行距離の短縮化	0	
		・車両のエコドライブ	0	暑い日が長く続いていたため、エアコンの使用が多くなっ
	燃料使用量の削減	・タイヤの空気圧を定期的に確認する	0	てしまった、適切にエアコンを使用するように気をつけたい。エコドライブや走行ルートなどとても良く出来てい
		・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輌整備	0	"い。エコドライブや走行ルートなどとても良く出来てい る。
		・最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進める	Δ	このまま継続していきたい。
		・アイドリングストップ	0	
		・エアコンの使用を控える	Δ	
	水使用量の削減	・手洗い時等の日常的な節水	0	
m . //.m = -		・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は水量調整をする	0	
用水使用量の 削減		・定期的な水漏れのチェック	0	しっかりと取り組めている。このまま継続していきたい。
		・有害物質や有機汚濁物質(生ごみ等)ができるだけ混入しないようにする	0	
		・モップ洗い時等こまめな止水をする	0	
		・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮する	0	
		・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる場合は可能な限り利用するよう工夫する	0	
	一般廃棄物の削減・	・ミスコピーの削減	0	良く出来ている。今後もこのまましっかりと継続していき
	//文/元·宋·/// ▽/ 日:1//···································	・ゴミの分別の徹底	0	たい。
廃棄物の削減		・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用の推奨	0	
		・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する	0	
	産業廃棄物の削減	・ゴミの分別の徹底	0	良く出来ている。今後もこのまましっかりと継続していき たい。
社会貢献	社会貢献	・事務所、倉庫周辺の清掃活動	0	良く出来ている。このまましっかりと取り組んでいきたい。

8. 具体的な取組状況

電力使用量の削減

節電ステッカーの作成



水使用量の削減

節水ステッカーの作成





ゴミの分別

ゴミ分別表

No.	種 別	コミ分別表 内容
1	資源紙	本・雑誌・雑紙・新聞・ダンボール・紙パック(牛乳)・厚紙(お菓子の箱など)
2	可燃ゴミ	紙屑・木屑・生ゴミ・チップ・布・革製品・カセット・ビデオテープ・割箸・ストロー・スリッパ・スポンシ・テニスホール・ぬいぐるみ・一面がアルミやビニルでコーティングされている紙類等
3	資源プラスチック	カップめんの容器・トレイ(色付含む)・キャップ各種・コンビニ弁当等の容器・発泡スチロール・チューブ型容器・ビニル袋・プリンのカップ、
		識別=プラマークの付いた容器や包装物の全て…
4	不燃ゴミ	靴類・プラスチック製品・アルミホイル・延長コート・ラシブカセ・ポット・コーム手袋・長靴・プラスチックハント・サンダル・シャープペン・ボールペン・ハンガー類・ポリタンク・フロッピー・コーム製ホール各種
5	資源ぺットボトル	へ°ットホ`トルは中身を洗い流すこと。へ°ットホ`トルのキャッフ°はNo.3の資源 プラスチックとする。
6	木くず	
7	金属類	

9.次年度の環境目標

(1)単年度目標

項目	単位	R5年 実績(基準年) R4.11-R5.10	R7年 目標(−2%) R6.11−R7.10
燃料使用量	(0)	3,697	3,623
電力使用量	(kWh)	5,265	5,160
CO ₂ 排出量	$(kg-CO_2)$	11,380	11,152
水使用量	(m^3)	39.0	38.2
一般廃棄物排出量	(kg)	47.0	46.1
産業廃棄物排出量	(t)	3.0	2.9

(2)中長期目標

		R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
項目	単位	実績(基準年)	目標(-1%)	目標(-2%)	目標(-3%)	目標(-4%)
		R4.11-R5.10	R5.11-R6.10	R6.11-R7.10	R7.11-R8.10	R8.11-R9.10
燃料使用量	(0)	3,697	3,660	3,623	3,586	3,549
電力使用量	(kWh)	5,265	5,212	5,160	5,107	5,054
CO ₂ 排出量	$(kg-CO_2)$	11,380	11,266	11,152	11,039	10,925
水使用量	(m^3)	39.0	38.6	38.2	37.8	37.4
一般廃棄物排出量	(kg)	47.0	46.5	46.1	45.6	45.1
産業廃棄物排出量	(t)	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9

[※] 東京電力の調整後排出係数 (令和5年度実績) は $0.441 \mathrm{kg-CO}_2/\mathrm{kWh}$

10. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間:令和6年11月~令和7年10月

項目		取り組み計画	担当者	期限
		・事務室、倉庫等の不使用時の消灯		
		・倉庫など使用頻度が低い場所の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する		
		・パソコン、コピー機等のOA機器の省エネ設定		
		・パソコン、プリンター等の不使用時電源OFF		
	電力使用量の削減	・空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)	柿沼	令和7年10月
		・空調を必要な区域や時間に限定して使用		
		・使用していない部屋の空調は停止する		
○○₂排出量の削減		・ブラインドやカーテンの利用して熱の出入りを調節		
ン〇27年山里の別域		・クールビズ推奨		
		・作業時間や待機時間、走行距離の短縮化		
	燃料使用量の削減	・車両のエコドライブ		
		・タイヤの空気圧を定期的に確認		
		・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輌整備	鈴木	
		・最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進める		
		・アイドリングストップ		
		・エアコンの使用を控える		
		・手洗い時等の日常的な節水		
		・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は水量調整をする		
用水使用量の削減		・定期的な水漏れのチェック	鈴木	
		・有害物質や有機汚濁物質(生ごみ等)ができるだけ混入しないようにする		
		・モップ洗い時等のこまめな止水		
	一般廃棄物の削減	・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮しする		
廃棄物の削減		・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる場合は可能な限り利用する		
		・ミスコピーの削減	柿沼	
		・ゴミの分別の徹底	TIPTL	
		・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用の推奨		
		・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入する		
	産業廃棄物の削減	・分別の徹底	鈴木	
社会貢献		・事務所、倉庫周辺の清掃活動	鈴木	

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

		最新状況確認日	令和5年	F11月1日
		遵守状況確認日	令和6年	€10月31日
法規名	適用条項	具体的内容	遵守状況	確認日
	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理		10/21
				10/31
廃棄物処理法	第7条	一般廃棄物収集運搬業の許可		10/31
(元未初处理仏 	第8条	産業廃棄物の保管基準		10/31
	第12条	産業廃棄物の収集運搬基準		10/31
	第12条の3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付 毎年6月30日報告書提出		10/31
	第14条	産業廃棄物の収集運搬許可	0	10/31
自動車NOxPM法		削減対象物質の基準値・排出ガス基準を満たさない車両の運行禁止・登録規制		10/31
埼玉県生活環境保全条例		駐停車中のアイドリングの禁止	0	10/31
		排気ガス適合車両へのステッカー貼り付け		10/31
家電リサイクル法		特定家庭用機器廃棄時の適正な処理	0	10/31
自動車リサイクル法		営業用乗用車、トラック	0	10/31
浄化槽法		浄化槽の保守点検及び清掃、法定検査の実施	0	10/31

(2)環境関連法規等の違反と訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。 なお、関係当局からの違反等の指摘や訴訟は過去3年間ありませんでした。 令和5年11月から令和6年10月まで、外部からの苦情要望等もありませんでした。

12.社長による評価と見直し記録

集めた情報と評価

評価・見直しの実施日	承認
2024年11月22日	鈴木

項目	評価に使用した文書/記録	社長による評価
環境目標の達成状 況、環境活動計画 の実施状況	・環境活動計画の取組結果 ・環境目標の実績(環境レポート)	水使用量、一般廃棄物排出量が目標達成をすることが出来ました。こまめな止水や分別、とてもよく出来ています。このまま意識を高く持ち、しっかりと継続していきましょう。 燃料使用量、産業廃棄物排出量、電気使用量に関しては目標を達成する事が出来ませんでしたが、異常な暑さや、片付けなど仕方のない部分が多く見受けられます。エコドライブや分別、こまかな消灯など取り組みはよく出来ているように感じます。声掛けしながら引き続きしっかりと取り組んでいきましょう。
法規の遵守状況	・環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	違反、訴訟等もなく問題ない。
外部からの 苦情・要望	•苦情要望受付記録簿	苦情もなく良く出来ている。
その他のEA21の 取組状況	教育・訓練記録・緊急事態への準備及び対応策	特に変更点もなく問題ない。
前回の指摘事項の 実施状況	・社長による評価と見直し記録	エコドライブなどのこまめな呼びかけですが、 引き続き良く出来ていると思います。目標達成 のために、このまま呼びかけを継続していきま しょう。

指示事項

項目	見直しの	社長の指示		
坦 日	要否	指示の内容	処置(誰が、いつまでに)	
環境方針	□要 ■ 不要			
環境目標	□要 ■不 要			
環境活動計画	■要 □不要	・ゴミを出す時は改めてリサイクル等の分別が しっかりと出来ているか確認するように声掛け する	・環境管理責任者(鈴木) 現時点から実施	
実施体制	□要 ■不要			
その他EA21シス テム全般に関する 事	□要 ■ 不要			

- 手順: 1. 社長による評価と見直しは、毎年11月の「エコ会議」で定期的に行う。
 - 2. 社長は活動状況と成果について評価し、必要な指示を行う。
 - 3. 社長は、活動状況が大きく変化したときは、臨時で評価と見直しを実施する。